

製品安全データシート

会社: 株式会社パーキンエルマージャパン
住所: 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク テクニカルセンター 4F
TEL: 045-339-5864 FAX: 045-339-5874
緊急連絡先: 同上
作成・改訂日: 2007年11月26日

MSDS No. 02400117/7440508

Code	製品名	包装
02400117	Copper Plus	454g
内容	銅 (>90%) (労働安全衛生法該当)	

物質の特定

単一製品・混合物の区別 混合物
物質の特定 銅
含有量 > 90%
化学式(分子量) Cu (63.5)
官報公示整理番号 対象外
CAS No. 7440-50-8

危険・有害性の分類

最重要危険有害性及び影響

人の健康に対する有害な影響

皮膚に接触すると発赤の症状を引き起こす。眼に入ると発赤、痛みの症状を引き起こす。
ヒュームは上部気道を刺激する。長期または反復暴露により肝臓障害を引き起こす。

環境への影響

長期的影響により有害のおそれがある。

物理的及び化学的危険性

可燃性である。

応急措置

吸入した場合

直ちに空気が新鮮な場所に移し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

多量の水で洗う。気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

目に入った場合

直ちに流水で15分以上洗眼し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合

水で口の中をすすぎ、速やかに医師の診断を受ける。

火災時の措置

消火方法

火災を増大させる危険性があるものを周囲から速やかに取り除く。金属火災の場合は、水を用いると水素ガスが発生することがあるので、消火剤として水を使わない。

消火活動の注意事項

火災によって刺激性、毒性、または腐食性のガス及びヒュームが発生するおそれがある。空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

消火剤 特殊粉末消火薬剤、乾燥砂

漏出時の措置

発火源や可燃性物質を速やかに取り除く。
漏洩物を掃き集めて、密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。

処理者に対する注意

適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触やガス、ヒュームの吸入を避ける。

環境影響に対する注意

河川等へ排出されて、環境への影響を与えることのないよう注意する。

取扱および保管上の注意

取扱い

取扱いは、換気のよい場所で行い、粉塵が飛散しないよう注意する。周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。静電気対策を行い、作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。取扱い機器や設備などは防爆型を用いる。
適切な保護具を着用し、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないようにする。取り扱い後は、洗顔、うがい、手洗いをを行う。

保管

容器を密閉して、換気の良い涼しい所で保管する。
熱、火花、裸火のような着火源から離して保管する。
アセチレン化合物、エチレノキド類、アジ化物や塩素酸塩、臭素酸塩、ヨウ素酸塩などの酸化剤から離して保管する。

暴露防止および保護措置

許容濃度

ACGIH(2005年版) : TLV-TWA 0.2mg/m³(ヒュームとして)
TLV-TWA 1mg/m³(粉じん、ミストとして)

設備対策

防爆の電気・換気・照明機器を使用する。局所排気装置を設ける。洗眼器と安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸器の保護具：防塵マスク
手の保護具：保護手袋
目の保護具：保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具：保護衣

物理的および化学的性質

銅 単一製品として

外観等 赤褐色の粉末

融点 1083 沸点 2595 比重 8.9

引火点 データなし 発火点 データなし

溶解性 水に不溶。硝酸、加熱硫酸に可溶。

配合禁忌 アセチレン化合物、エチレノキド類、アジ化物や酸化剤(塩素酸塩、臭素酸塩、ヨウ素酸塩等)

特定条件下で生じる危険な反応

アセチレン化合物、エチレノキド類、アジ化物により衝撃に敏感な化合物が形成される。
塩素酸塩、臭素酸塩、ヨウ素酸塩などの酸化剤と反応し、爆発の危険をもたらす。

有害性情報

銅 単一製品として

刺激性 皮膚、眼：発赤（中央災害防止協会,1992）、 気道：刺激(ヒューム)（ACGIH,2001）

急性毒性 経口 ウサギ LDLo 120 µg/kg（RTECS, 2005）

がん原性 データなし

その他

環境影響情報 データなし

廃棄上の注意

関係法規ならびに地方自治体の基準に従う。
自己処理できない場合は、都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

輸送上の注意

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確め、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に
行う。
国連分類： 非該当、 国連番号： 非該当

適用法令

1) 労働安全衛生法： 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9の379)

略号

LC₅₀: lethal concentration 50 percent kill
LD₅₀: lethal dose 50 percent kill
LCL₅₀: lowest published lethal concentration
TCL₅₀: lowest published toxic concentration
TLV-STEL: Threshold Limit Value - Short Term Exposure Limit (短時間曝露限界値)
TLV-TWA: Threshold Limit Value - Time Weighted Average (時間加重平均限界値)

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists
NTP: National Toxicology Program(USA)
OSHA: Occupational Safety and Health Administration(USA)

本製品安全データシート(MSDS)は、入手した情報に基づいて作成されていますが、全ての情報を網羅しているわけではありませぬので、お取扱には十分ご注意ください。
本MSDSの記載内容は、情報提供であり当該化学物質の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。

製品安全データシート

会社: 株式会社パーキンエルマージャパン
住所: 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134
横浜ビジネスパーク テクニカルセンター 4F
TEL: 045-339-5864 FAX: 045-339-5874
緊急連絡先: 同上
作成・改訂日: 2007年11月26日

MSDS No. N2410691/1317380

Code	製品名	包装
N2410691	Copper Oxide - Wire Form	50g
内容	酸化銅() (>90%) (労働安全衛生法該当)	

物質の特定

単一製品・混合物の区別 混合物
物質の特定 酸化銅()
含有量 > 90%
化学式(分子量) CuO (79.55)
官報公示整理番号 1-297
CAS No. 1317-38-0

危険・有害性の分類

最重要危険有害性及び影響 有害性
人の健康に対する有害な影響
吸入または経口摂取すれば有害。

環境への影響
データなし

物理的及び化学的危険性
通常の手扱いは危険性は低い。

応急措置

吸入した場合
空気が新鮮な場所に移し、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合
多量の水で洗い流す。異常があれば医師の診断を受ける。

目に入った場合
多量の水で最低15分間洗浄し、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合
多量の水を飲ませる。医師の診断を受ける。

火災時の措置

消火方法

本物質は不燃性。周辺火災に適した消火剤を用いて消火する。

消火活動の注意事項

消火作業の際には、周辺火災に応じて適切な保護具を着用する。

消火剤 本物質は不燃性。周辺火災に適した消火剤を使用する。

漏出時の措置

飛散したものを掃き集めて、密閉できる空容器に回収する。

処理者に対する注意

吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。

環境影響に対する注意

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

取扱および保管上の注意

取扱い

吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
取扱場所が屋内のときは、局所排気装置を使用する。取り扱い後は、洗顔、うがい、手洗いをを行う。

保管

直射日光を避け、換気のよい涼しい場所に密閉して保管する。

暴露防止および保護措置

許容濃度

データなし

設備対策

局所排気装置を設置する。洗眼器及び安全シャワーを設置する。

保護具

呼吸器の保護具： 防塵マスク
手の保護具： 保護手袋
眼の保護具： 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具： 保護衣

物理的および化学的性質

酸化銅 単一製品として

外観等 黒色粉末

融点 1064 沸点 データなし 比重 6.3

引火点 データなし 発火点 データなし

溶解性 水、アルコールに不溶。塩酸、硫酸、塩化アンモニウム溶液、アンモニア水に可溶。

配合禁忌 データなし

特定条件下で生じる危険な反応

データなし

有害性情報

酸化銅 単一製品として

刺激性 データなし

急性毒性 経口 ラット LD₅₀: 470mg/kg (RTECS)

がん原性 データなし

その他

環境影響情報 データなし

廃棄上の注意

関係法規や条例に従って処理する。
自己処理できない場合は、都道府県知事の認可を受けた廃棄物処理業者に委託する。

輸送上の注意

輸送に際しては、容器の破損、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国連分類：非該当
国連番号：非該当

適用法令

1) 労働安全衛生法：名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9の379)

略号

LC₅₀: lethal concentration 50 percent kill
LD₅₀: lethal dose 50 percent kill
LCL₅₀: lowest published lethal concentration
TCL₅₀: lowest published toxic concentration
TLV-STEL: Threshold Limit Value - Short Term Exposure Limit (短時間曝露限界値)
TLV-TWA: Threshold Limit Value - Time Weighted Average (時間加重平均限界値)

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists
NTP: National Toxicology Program(USA)
OSHA: Occupational Safety and Health Administration(USA)

本製品安全データシート(MSDS)は、入手した情報に基づいて作成されていますが、全ての情報を網羅しているわけではありませぬので、お取扱には十分ご注意ください。
本MSDSの記載内容は、情報提供であり当該化学物質の取扱い上のいかなる保証をするものではありません。